おはなしの マッチばこ No.366

私達は、おはなしのろうそくに
火をともす　マッチです。
この箱が、さまざまな光を放つ
マッチで　いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

5月のストーリーテリング勉強会

2014年 5月14日（水）　9:30～12:00

主催：高知県立図書館　　参加者：14人

場所：高知県立図書館　児童図書研究室（子ども読書室奥）

次回の勉強会は
6月11日（水）
9:30～12:00
場所：当館児童図書研究室
（子ども読書室奥）

1．こすずめのぼうけん　7分

『こすずめのぼうけん』（ルース・エインズワース／作　石井桃子／訳　堀内誠一／画　福音館書店／発行）より

【語り手から】

４・５歳児向けに覚えたおはなしです。今日のご意見を参考に、さらい、語りこんでいきたいです。

2．くつ屋とこびと　8分

『こびとの本（世界の民話館）』（ルース・マニング=サンダーズ／〔編〕著　西本　鶏介／訳　ブッキング／発行）より

【語り手から】

もっと緊張せずに語れるようになりたいです。

3．えすがたあねさま　15分

『えすがたあねさま（おはなし名作絵本２５）』（大川　悦生／文　梅田　俊作／絵　ポプラ社／発行）より

【語り手から】

テキスト選択のむずかしさを知りました。長くて苦労しました。

4．鳥のみじい　３分

『子どもに語る日本の昔話２』（稲田　和子／著　筒井　悦子／著　こぐま社／発行）より

【語り手から】

以前より、無駄な力を抜いて語れるよう努めました。

5．こすずめのぼうけん　10分

『おはなしのろうそく 13』（東京子ども図書館／編・発行）より

【語り手から】

皆さんのゆったりとした口調や柔らかな表情に、こうやって語っているんだという雰囲気をつかむことができました。お話をしてみて課題も出していただきました。次回は、皆さんの顔を見ながら語る余裕を持てるよう、読み込んでいきたいと思います。

6．アナンシと五　５分

『子どもに聞かせる世界の民話』（矢崎　源九郎／編　　実業之日本社／発行）より

【語り手から】

６月６日の本番に向け、復習してみます。

7．小さなこげた顔　11分

『アメリカのむかし話』（渡辺　茂男／編訳　偕成社／発行）より

【語り手から】

インディアンのもつ高い自然観、精神性が伝わりつつ楽しんでもらえばと思って語りました。

8．うりひめ　９分

『子どもに語る日本の昔話１』（稲田　和子／著　筒井　悦子／著　こぐま社／発行）より

【語り手から】

まだ充分にひき直しができていないので、うりひめとあまんじゃくのかけ合いをしっかり語りたいです。

9．アナンシと五　６分

『子どもに聞かせる世界の民話』（矢崎　源九郎／編　実業之日本社／発行）より

【語り手から】

みんながよく語る話で、私も覚えたいと思っていて、やっと覚えました。おもしろい話なので、もっとしっかり語りたいと思いました。

おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。

今回の勉強会では、二つのおはなしについて、それぞれ違う方の語りを聞くことができました。同じテキストであっても、語る方によって少しずつ違いがあり、それぞれに良さが感じられることを改めて実感しました。